

「環境 人づくり企業大賞 2018」 優秀賞を受賞

「環境 人づくり企業大賞」(主催：環境省、環境人材育成コンソーシアム EcoLeaD)は、地球環境に配慮した企業経営の必要性を認識し、その実現のため自ら進んで行動する人材(環境人材)を育成する企業を

奨励するもので、今回が5回目の開催となり58件の応募がありました。リビングアメニティ協会会員企業様の受賞の内容を紹介させていただきます。

受賞企業	評価されたポイント
積水化学工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ ESGの視点で持続可能な経営基盤を構築することを経営の基本戦略として位置づけ、グループの環境長期ビジョンを策定している。このビジョンの中で、人材育成に体系的に取り組んでいる。 ■ 全従業員を対象に、環境風土の醸成と環境意識の高い人材の育成を目的としたプログラムを実施している。 ■ 環境人材指標を用いて評価し、環境教育について効果の見える化と課題の把握をしている。環境教育の効果を「環境人材チェック」により知識力と行動力について各人にフィードバックしている。
株式会社ノーリツ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 階層別に幅広く教育をするなどし、SDGsの社内浸透を図っている。 ■ eco検定の取得者は、グループ従業員全体で6割以上にのぼる。eco検定の取得者はeco検定の社内普及、社外普及を行うとともに、社内の「切電プロジェクト」に主体的に取り組むなど、役割を明確にし、コストダウンにも貢献している。 ■ 地域社会と連携したボランティア活動も活発であり、琵琶湖外来魚駆除釣り等により、生態系への理解を深めている。
リンナイ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会社の根幹となる行動計画や中期経営計画にしっかりと環境人材の育成が位置付けられている。基礎的な環境教育を全社員に行うほか、地域の自然を守る環境保全の取組、社長表彰制度、チャレンジ宣言など多様な取組が効果的につなげられている。 ■ 参加型の取組が多く、社員を巻き込んでいる。また、自社だけでなく、サプライチェーンを通じた取組や、地域住民を巻き込んだ取組も実施している。 ■ アンケートなどを通じて、理解度を測定するなど、個人の変容を把握し、改善に取り組んでいる。